

子ども医療費〈無料化の市町村の割合〉

大阪府は無料化ゼロで**全国ワースト**

対象年齢引き上げ
所得制限も撤廃を

子ども医療費助成を都道府県がカバーする範囲 (○あり、―なし)

都道府県名	対象年齢		所得制限		一部自己負担	
	通院	入院	通院	入院	通院	入院
北海道	就学前	12歳年度末	○	○	○	○
青森県	就学前	就学前	○	○	○	○
岩手県※1	就学前	12歳年度末	○	○	○	○
宮城県	就学前	就学前	○	○	―	―
秋田県※2	15歳年度末	15歳年度末	○	○	○	○
山形県	9歳年度末	15歳年度末	―	―	○	○
福島県※3	18歳年度末	18歳年度末	○	○	○	○
茨城県	12歳年度末	18歳年度末	○	○	○	○
栃木県※4	12歳年度末	12歳年度末	―	―	○	○
群馬県	15歳年度末	15歳年度末	―	―	―	―
埼玉県	就学前	就学前	○	○	○	○
千葉県	9歳年度末	15歳年度末	○	○	○	○
東京都※5	18歳年度末	18歳年度末	○	○	○	―
神奈川県※6	就学前	15歳年度末	○	○	○	○
新潟県	※7	※7	※7	※7	※7	※7
富山県※8	就学前	就学前	―	―	○	○
石川県	4歳未満	就学前	○	○	○	○
福井県※9	15歳年度末	15歳年度末	―	―	○	○
山梨県	5歳未満	就学前	―	―	―	―
長野県	9歳年度末	15歳年度末	―	―	○	○
岐阜県	就学前	就学前	―	―	―	―
静岡県	18歳年度末	18歳年度末	―	―	○	○
愛知県	就学前	15歳年度末	―	―	―	―
三重県	12歳年度末	12歳年度末	○	○	―	―
滋賀県	就学前	就学前	―	―	―	―
京都府	15歳年度末	15歳年度末	―	―	○	○
大阪府	就学前	就学前	○	○	○	○
兵庫県※10	15歳年度末	15歳年度末	○	○	○	○
奈良県	15歳年度末	15歳年度末	○	○	○	○
和歌山県	就学前	就学前	○	○	―	―
鳥取県	18歳年度末	18歳年度末	―	―	○	○
島根県	12歳年度末	12歳年度末	☆一	―	○	○
岡山県	就学前	12歳年度末	○	○	○	○
広島県	就学前	就学前	○	○	○	○
山口県※11	就学前	就学前	○	○	○	○
徳島県	15歳年度末	15歳年度末	○	○	○	○
香川県	就学前	就学前	○	○	―	―
愛媛県※12	就学前	就学前	―	―	○	―
高知県※13	就学前	就学前	○	○	○	○
福岡県※14	15歳年度末	15歳年度末	○	○	○	○
佐賀県	就学前	就学前	―	―	○	○
長崎県	就学前	就学前	―	―	○	○
熊本県	4歳未満	4歳未満	○	○	○	○
大分県	就学前	15歳年度末	―	―	○	○
宮崎県	就学前	就学前	○	―	○	○
鹿児島県※15	18歳年度末	18歳年度末	○	○	○	○
沖縄県	15歳年度末	15歳年度末	―	―	―	―

(厚労省「令和3年度『乳幼児等に係る医療費の援助についての調査』」を参考に作表)

※1 3歳未満は一部自己負担なし (本人及び主たる生計維持者が市町村民税非課税)

※2 0歳児及び市町村民税所得割非課税世帯は一部自己負担なし

※3 市町村への補助対象年齢は、小学校就学前及び小学校4年から18歳年度末まで

※4 乳幼児は一部自己負担なし

※5 乳幼児は一部自己負担なし (18歳は23年4月から)

※6 4歳未満は一部自己負担なし

※7 交付金方式のため規定なし。交付金規模は12歳年度末までに相当

※8 乳児は一部自己負担なし

※9 乳幼児は一部自己負担なし

※10 乳児は所得制限なし

※11 3歳未満児及び調剤薬局の一部自己負担なし

※12 3歳未満児は一部自己負担なし

※13 乳児は所得制限及び一部自己負担なし
幼児については市町村民税非課税世帯は一部自己負担なし

※14 3歳未満児については所得制限及び一部自己負担なし

※15 市町村民税非課税世帯は一部自己負担なし。課税世帯の対象は就学前まで

☆＝厚労省調査の「所得制限あり」は誤報告。

就学前まで

1回500円の
窓口負担



大阪府

18歳まで

(2023年4月から)

就学前まで無料



東京都

中卒まで

無料

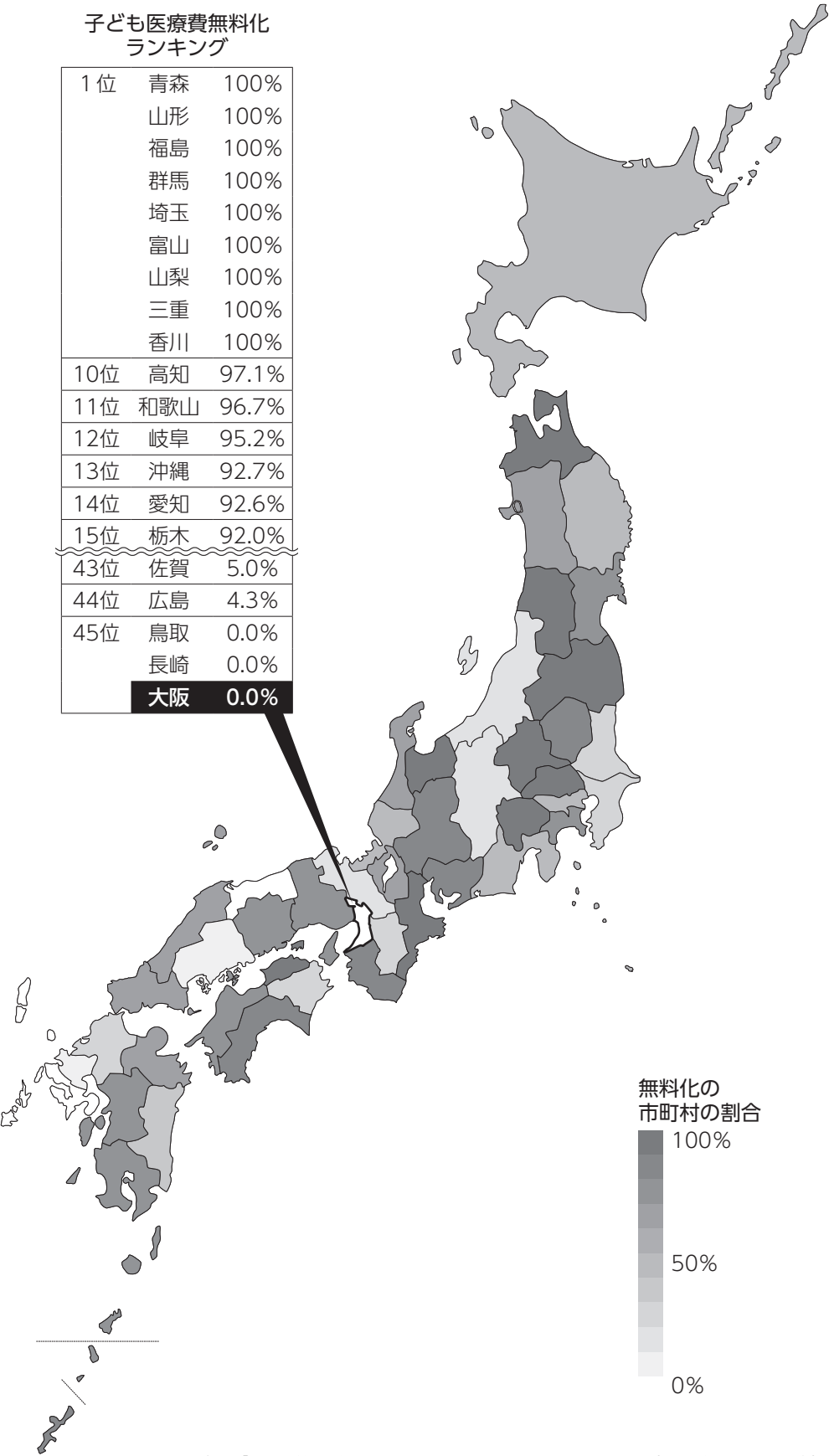


沖縄県

各県公表資料より

子ども医療費無料化
ランキング

1位	青森	100%
	山形	100%
	福島	100%
	群馬	100%
	埼玉	100%
	富山	100%
	山梨	100%
	三重	100%
	香川	100%
10位	高知	97.1%
11位	和歌山	96.7%
12位	岐阜	95.2%
13位	沖縄	92.7%
14位	愛知	92.6%
15位	栃木	92.0%
43位	佐賀	5.0%
44位	広島	4.3%
45位	鳥取	0.0%
	長崎	0.0%
	大阪	0.0%



厚労省「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」から作成 (2020年4月1日現在)

くらしの府政へ が政策協定を語る

大阪の住民税は全国4位なのに…



※都道府県の支出。「政府統計」から作成

小澤 2013年7月の参議院選挙で初当選した時、患者さんが「辰巳さんって歯もきれいや」と言っていました。あの時のボスターは今回と同じ、青い「たつみブルー」でした。さて、辰巳さんが政治家を志したきっかけを教えてください。

辰巳 参議院議員になる前は、西淀川生活と健康を守る会に勤務していました。そこで7千件の相談に応じたことが政治家としての活動の基礎になっています。暮らしに行き詰って駆け込んでくる方々の話を聞いていると、政治を変えなければならぬと感じたのです。

小澤 国会議員時代には、森友疑惑の追及に徹底的に取り組んでおられましたね。籠池氏関連の音声データを独自に入手して、正月返上で自ら文字起こしをしたとも聞きました。



小澤力理事長

まず現地へ、心はいつも大阪

小澤 地元といえば大阪北部地震の時は、すぐに現地入りされましたね。

辰巳 働く場が国会でも、いつも心は大阪に寄せていました。2018年6月の地震では、女兒が学校の扉の下敷きになり亡くなりました。幼い子を持つ親として大変胸が痛みました。その教訓を生かさなければと災害に備えるプロック対策やエアコン設置を取り上げ実現することができました。大阪の歯科医院の先生方も診療所に被害が出たと聞いていますが、小澤 被災した会員も多くいました。屋根やエアコンの室外機が破損、壁にクラックが入ったり、院内も水浸しになったりとか。

辰巳 あのとときは、東京と大阪を行ったり来たりしながら高槻市役所や茨木市役所、枚方市などを訪問していました。公文書改ざんと隠ぺいを政府に認めさせましたが、虚偽答弁について、本人を改めて追及したかったですね。

小澤 2018年の台風被害の時、阪神庁舎の駐車場が車がひっくり返ったり、大変でした。辰巳 そうですね。大阪万博の候補地でもありましたけど、湾岸地域の被害は壮絶でした。SNSで被害状況や注意を呼びかけていたら、フジテレビ系や日刊ゲンダイなどからも「情報がなくて困っていた」と連絡をもらいました。状況を一番つかんでいる国会議員だと思ってもらったようです。

歯科の重要性を46歳にして痛感

小澤 辰巳さんご自身が、歯科医療をどのように見ているかを聞きたいんですが。

辰巳 歯科医療がすごく大事であるということを46歳にして痛感しています。私、歯並びは良い方なんですけど、歯ぎしりのクセを昔から指摘されていたんですが、あまり意識してこなかった。歯と歯ぐきがダメージを受けるとどうなるか、歳を追うごとに認識させられ

病床削減やめ保健所増やす

小澤 新型コロナ感染症が広がりはじめた当初、厚労省が、歯科が一

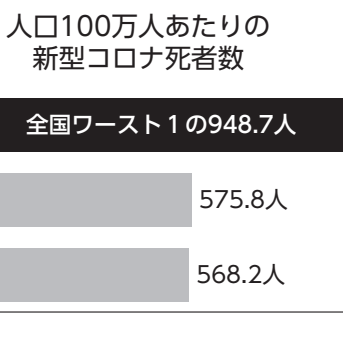
番危ないから不要不急に歯科受診するなって言っていた。会員の先

生方、すごく努力した。努力した結果、患者さんの数が減った。そのことに対する支援も何も無い。

辰巳 コロナ対策については、まず大阪で亡くなった方が東京の人口比で1・6倍ぐらい。吉村さんはまともに説明してないんです。私達はずっとPCR検査が大村さんはPCR検査そのものをともに取り合わなかった。かなり最近になってからです。ようやく国も、無症状者に対する検査が大事だと言いついて、しつじ大阪府もやり出しました。

去年の年初が第6波なんですけど、一昨年の秋ぐらいから検査をようやく施設でも始めたんですけど、11月の終わりにやめちゃったんです。下火になったからと。そこで年明けに第6波が来たんですけど、検査やっていたのに一旦止めてますからまたやろうかってなると時間がかかるということに進まなかったんです。そこで死

小澤 これは辰巳さんにぜひとも強く言ってほしいんですけど。国から来た予算を使って、さも大阪府がしたかのように、いろんな支援を医療機関に配ってるんですけど、大阪府独自の上乗せはゼロなんです。府独自でちゃんとせえんというのを暴いてほしい。



子ども医療費は完全無料に

小澤 医療費助成は、革新府政のときに老人医療費助成制度が先駆になって、あそこちの自治体でも生まれました。その後長い間続いていたのに、維新の会になって廃止されたんですね。

府民の皆さんにも呼びかけて、

者が出たということなので対応としての誤り、検査を軽視することの誤りだといえます。

また、急性期病床の削減をストップすることが大事です。保健所機能の回復だと思います。保健所の数は全国最低なんです。人口比で。大阪府は一つしかないし、府下も十分に足りないです。ね、この間統廃合もされてますので保健所はやっぱり増やす。それから保健師の数はワースト2位なんです。大阪府は。ここをやっぱり分厚くすることで、今後の感染症に対応できる体制を作れると思っています。

小澤 これは辰巳さんにぜひとも強く言ってほしいんですけど。国から来た予算を使って、さも大阪府がしたかのように、いろんな支援を医療機関に配ってるんですけど、大阪府独自の上乗せはゼロなんです。府独自でちゃんとせえんというのを暴いてほしい。

辰巳 コロナのときに医療機関がいろんな設備を整えないといけないとなったときの交付金算定のやり方、すごく遅い。買ってからしかくれへん。報告してから何カ月もかかる。石川たえ府議会議員なんかも取り上げて一部お金の出し方を改善させることができたが、とにかく大阪は全く不十分だったと思います。

やっぱり支援は国だけではなくて府独自の財源も使うことが大事だと思います。

医療費助成を守る運動に取り組む、何とか乳幼児と一人親家庭は守れました。でも、無料はゼロで他府県と比べて明らかに遅れています。

辰巳 本心に切実だと思います。医療を受ける人が不安を抱かない

対談 4・9大阪府知事選

カジノより命・

小澤理事長と辰巳孝太郎氏 (府知事選出馬)



辰巳孝太郎氏

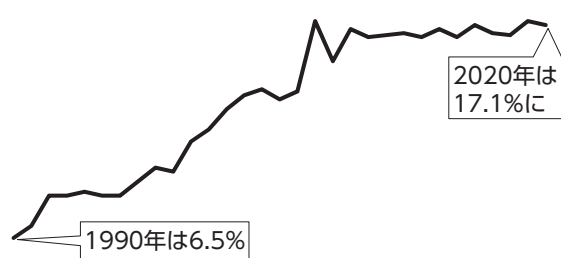
各疾患の子どもの割合 (単位: %)

	幼稚園	小学校	中学校	高校
むし歯 (う蝕)	26.49	39.04	30.38	39.77
裸眼視力1.0未満	24.81	36.87	60.66	70.81
鼻・副鼻腔疾患	2.96	11.87	10.06	8.81
耳疾患	2.00	6.76	4.89	2.51
アトピー性皮膚炎	1.75	3.20	2.95	2.58
眼の疾患・異常	1.48	5.13	4.84	3.35
ぜん息	1.48	3.27	2.31	1.70
蛋白検出の者	0.66	0.87	2.80	2.80
せき柱・胸郭・四肢の状態	0.17	0.79	1.72	1.22
心電図異常	—	2.50	3.07	3.16

2022年度学校保健統計調査

よう、すぐに負担をなくさないといけません。子ども医療費助成も、わたしが知事になったら、一部負担、いま500円なんですけどね、これを完全無料にしたいと思います。やっぱり複数科を受診すると負担になる。子どもが増えたら増えただけ負担になる。やっぱり負担を完全に無くして、子どもが熱出たとか咳出てるあるいはアレルギーとかアトピーなど、親ってやっぱり心配ですから。お金

国保加入者の所得に占める保険料割合



国保料は統一化中止で軽減

小澤 国保料はこれまで各市町村が一般財源を繰り入れして保険料を抑えてきましたが、2024年の統一化への完全移行で、自治体独自の繰り入れができない形にされようとしています。

の心配なく医療にかかれる。すぐに医療にかかれたら重症化しない。小児科や歯科のお医者さん、いろんなアドバイスをもらうことは、子育てにも非常に重要だと思

いますので、子どもの医療費の負担をなくす。高齢者、ひとり親、みなさんが窓口負担を気にせず医療にかかれるようにしたいと思

辰巳 なぜ大阪の国保料が高くなっているかというと、大阪府の国保料の一本化が原因です。それぞ

学校歯科治療調査を府政に生かす

小澤 さっき辰巳さんがおっしゃったように、学校歯科健診にまつわる様子を、養護の先生からいろいろ伺いたんですけど、給食の時間に歯が痛くて給食は食べられない子どももいて。担任の先生がその子のために食べ物細かく刻んであげて食べさせているとかね。学校歯科健診後に治療に行けないっていうのは、僕は大阪府下には三つの貧困があるからだと

思っています。一つはお金、もう一つは時間、あと一番大事なのが家庭内の心のゆとりです。貧困と

辰巳 格差と貧困から子どもを守るの

無所属の立場から連帯と協働

小澤 長く続いた維新政治によって地域の行事も減り、住民同士のつながりが希薄になっています。

から。他会派というか野党の方々の意見も取り上げてより良い大阪にしてい

省エネ・再エネこそ成長戦略

小澤 こうして見ると課題は山積みです。カジノなんてとんでもない。

大阪は中小企業のまち。再エネ

子どもが行っている学校は、昼ご飯食べた後に歯磨きすることはないんですよ。うちの妻が働いてる豊中の小学校では、給食の後に、みんな歯磨きします。

磨きっていうのはやってもうたら、とてもありがたいんやけどなとずっと思っています。

お母さんと
赤ちゃんのため
妊産婦医療費
助成制度創設を

知られていない歯科の重要性

「マイナス1歳」からの予防を

「妊産婦医療費助成制度」の創設を求める運動に取り組む思いについて医科・歯科それぞれの立場から語り、「大阪保険医新聞」2月5日、15日各号に掲載された内容を紹介します。



大阪府歯科保険医協会
理事
玉川 尚美 氏

「妊産婦医療費助成制度」の創設を求める運動に取り組む思いについて医科・歯科それぞれの立場から語り、「大阪保険医新聞」2月5日、15日各号に掲載された内容を紹介します。

注意が必要です。妊娠中に歯周病が悪化すると、早産や低体重児出産になる恐れがあります。

初期段階での治療の重要性 妊娠中でも躊躇せず受診を

そうした中で、口腔内の状態が知らず知らずのうちに悪化し、ある日突然、歯磨き中に出血が起きてびっくりされるといったケースは少なくないため、妊娠中においては定期的な歯科受診が重要です。

また、妊娠中はむし歯だけでなく、歯周病にも

妊娠中はお腹が大きくなってチェアに寝そべっての受診が難しくなることや、麻酔など薬に関する不安も大きくなるため、受診をためらってしまふ患者さんも少なくありません。

座ったまま治療をすることもできますし、むし歯がひどくなった場合でも、痛みを和らげ、時期をみてできる処置を選択しながら治療していくことが可能です。

初期の段階で治療し、重症化させないことが重要であるため、患者さん

妊娠期から始まる子どもの 歯並び・むし歯予防

生まれてくる子どもへの影響を教えてください。

昔に比べて子どものむし歯の数は減少しています。しかし、ネグレクトのような子どももたまに見受けられ、その時は先生方と対応を検討したり、ある程度子どもが大きければブラッシング指導もしてきました。

子どもはむし歯や不正咬合の予防は、妊娠期の

負担の大きい妊産婦を支える ために助成制度が必要

「妊産婦医療費助成制度」の創設についてご意見をお聞かせください。

実際に治療をしている際、「あとい回通わないといけないのか」と聞かれることや「費用が高いから治療をやめる」と言われたことがあります。

妊娠中は体調面だけでなく、金銭面でも負担が大きくなります。低賃金労働者や母子家庭の増加、今は物価高騰などで経済的に苦しいという家庭も多いと思います。

妊産婦医療費助成は若者へのエール

制度創設は行政の姿勢を示す有効な手段

2021年の国内出生数は過去最少の81万人となるなど、少子化は深刻な状況です。こうした状況についてどのようにお考えでしょうか。

私は、今からおよそ30年ほど前に第一子を出産しました。その当時は妊

婦健診のチケットが妊娠前期・後期で一枚ずつしかなく、大変不十分なものでした。その頃に比べると、地域差もあるとは思いますが、現在の妊婦健診の制度は大幅に拡充されていると思います。

「経済的理由」があると感じています。経済的に不安な状況の中では、子どもを産み、そして育てる覚悟を持つことは困難です。

ただし、そういった子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子育ての問題」に関しては、大阪の児童虐待数は8年連続で、全国でワ

一スト一位と深刻な高止まり状況になっていますが、どのよう

に増加しています。

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」



大阪府保険医協会
理事
小林 知加子 氏

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

「子どもを取り巻く問題の背景にある「貧困」

